

成果の説明書

(氏名) 高橋 美佐	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (研究) <ul style="list-style-type: none">人為的な不規則性の生成に関する研究 確率論の応用においては、社会現象、自然現象といった対象を問わず、不規則性は意図せざる結果として生じるものと想定されているものが多い。本研究では不規則性を人為的に生成することを目的とした状況を考え、ある確定的なあるいは偶然性を含む操作が結果としての不規則性にどのような関係をもつかを明らかにすることを目的とする。具体的な例としてトランプカードのシャッフルがある。シャッフルの操作と生成される並びを表現する定式化をおこない、不規則性の生じる条件等を検討した。 (教育) <ul style="list-style-type: none">学部基礎教育科目の情報分野を担当する非常勤講師のコーディネートや連絡業務を担当し授業の円滑な運営と内容の充実に努めるとともに、次年度の更新計画や意見聴取等をおこなった。ICTの急速な進展に伴い、数理・データサイエンス教育の充実が求められている。文部科学省の教育プログラム認定制度やモデルカリキュラム、他大学での導入状況などについて調査し、本学での教育内容やカリキュラムのあり方について検討をおこなった。 (学会活動) <ul style="list-style-type: none">高橋美佐, 永野清仁, 奥貫圭一「2022年春季研究発表会ルポ」『オペレーションズリサーチ』vol.67, No.8, pp.454-458. (学内業務) <ul style="list-style-type: none">地域づくり学科長として、学科教員がリレー方式で分担する授業のコーディネートなど円滑な運営に努めた。	
2 その他の事項 特になし	
3 次年度以降の計画・抱負 (研究) 引き続き、人為的な不規則性の生成に関する研究を進める。不規則性の人為的生成は産業分野における必要性が高いため、関連する課題を抽出しつつ研究成果をまとめる。 (教育) 新規開講する「データサイエンス入門」の準備をすすめるとともに、ICTの現状や今後の進展を考慮しながら引き続きカリキュラムのあり方について検討をすすめる。また、担当講義においても、社会と数理やデータサイエンスとのかかわりについて学生の関心を喚起するように努めたい。	